

1 科目名 (単位 数)	特別活動の指導法 (中等) (2 単位)	3 科目番号	SSMP2346 SNMP2346						
2 授業担当教員	安次嶺 隆幸		SCMP2346 SBMP2346 EDTS2307						
4 授業形態	講義、演習 (グループワーク含む)	5 開講学期	秋期						
6 履修条件・ 他科目との関係	「教育方法論」を履修していることが望ましい。								
7 講義概要	<p>◇ 特別活動は、生徒の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめ問題などに対する予防的な役割を果たすなど、生徒の成長に欠かせない教育活動である。そこで、特別活動の意義や目標を確認し、その背景となる理論を理解するとともに、実践的な指導の在り方を身につける。</p> <p>◇ 特別活動の方法原理や基本的な用語などの確認をしながら、体験的な学びを重視し、学級活動・ホームルーム活動を中心とした授業力等の理解と習得を図る。</p> <p>◇ 演習内容は、「学級活動・ホームルーム活動」を中心にその授業力・指導力を育成するものとする。学級活動・ホームルーム活動を中心に演習を展開する理由は、学級活動・ホームルーム活動が特別活動の中核であり、集団成員としての望ましい資質や能力・態度を育て、人間としての生き方に関する指導を行う中心的な場であるとともに、生徒指導の全機能が補充・深化・統合される場として重要であるからである。また、教科書もなく学級担任としての力量が学級担任になると即刻問われるからである。</p>								
8 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別活動の目標や内容、特質と教育課程における位置づけについて理解し、教育課程全体を意識して計画や指導を行うことができるようになる。 2. 特別活動における評価・改善活動の重要性を理解し、適切な評価・改善活動を実践できるようになる。 3. 特別活動の中核となる「学級活動・ホームルーム活動」について、その特質を理解した上で、指導案(展開案)を作成し、合意形成に向けた話し合い活動を指導できるようになる。 4. 特別活動における家庭、地域等との連携のあり方について理解し、指導に活かせるようになる。 								
9 アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	★ノート指定 ツバメノート A4 品番 A5008 JAN: 4968796311105 一冊を準備しておくこと。毎回これを出席、課題レポートに使用します。毎回プリント課題を配布しますので、このノートに貼り、授業後に提出します。								
10 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】</p> <p>◇中学校学習指導要領解説 特別活動編 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省・東山書房)</p> <p>※在庫不足で購入出来ない場合 文部科学省 HP でダウンロード版印字</p> <p>◇「すべては挨拶から始まる! 礼儀でまとめる学級づくり」(東洋館出版) 安次嶺隆幸著</p> <p>【参考書】</p> <p>生徒指導提要 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p> <p>高等学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p> <p>高等学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p> <p>「将棋を指す子が伸びる理由」(小学館クリエイティブ) 安次嶺隆幸著</p> <p>「教養としての将棋」(講談社現代新書) 羽生善治・梅原猛・尾本恵一・安次嶺隆幸 共著</p>								
11 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別活動の目標や内容、特徴を踏まえて指導計画をつくることができる。 2. 指導計画をもとに適切な授業を行うことができる。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極性 (発言・模擬授業の実施等)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2. 日常の学習状況 (出席・提出物)</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 課題レポート (中間・期末)</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極性 (発言・模擬授業の実施等)	総合点の 20%	2. 日常の学習状況 (出席・提出物)	総合点の 30%	3. 課題レポート (中間・期末)	総合点の 50%
1. 授業への積極性 (発言・模擬授業の実施等)	総合点の 20%								
2. 日常の学習状況 (出席・提出物)	総合点の 30%								
3. 課題レポート (中間・期末)	総合点の 50%								
12 受講生への メッセージ	<p>★特別活動における、将棋の教育的意義の考察Ⅱ (秋期)</p> <p>この授業では、集団活動の演習として、「将棋」を取り上げます。特別活動の指導法の一つとして実践していく中で、子ども達の現状、課題を見いだししていきます。また、毎回場面指導を行い、ディスカッションをして教育に携わる専門性を学んでいきます。特別活動に関する理論と実践を踏まえながら、学級作り、対人関係、コミュニケーションツールとしても注目されている「将棋の教育的意義」を学んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者が授業で得た知見を実生活に活かせるよう、授業内容・方法を工夫します。 ・毎時間、明確な学習目標を設定し、これに達成するための課題を用意します。 ・教員と受講生、および受講生間のコミュニケーションを促進します。 ・小さな課題を積み重ねることによって、問題意識を深められるような工夫をします。 ・受講者は、毎時レポート (感想) を提出し・努力が正当に評価されるように、公正な成績評価を行います。 <p>★授業の約束</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 座席は指定とする。 2 正当な理由のない遅刻、早退、欠席をしないこと。(やむを得ず欠席する場合は、書面を提出のこと) 3 携帯電話の電源は切るとともに操作しないこと、及び私語は厳禁のこと。 4 レポート、アサイメントについては、指定した日までに必ず提出すること。(遅れた場合は減点です) 5 予習をするとともに、教育や特別活動に関連する図書や新聞記事に関心をもち読むこと。 6 教員を目指す大学生としての自覚と覚悟をもち、その品位を保つこと。 <p>★メッセージ</p> <p>将棋の歴史を紐解き、学び、実践していくことで、建学の精神にある、理論的・科学的思考力、実践的能力を統合し、柔軟な思考力を養い、問題発見・解決能力のある教職の資質を身につけ、同時に将棋から学ぶことで受講自身が相手の気持ちを察する力が身につきます。</p> <p>まとめとしてプロ棋士の考え方、将棋から学んできたことを、「学級活動・ホームルーム活動」について、授業を展開する指導案(展開案)を作成、グループ発表する。将棋というツールが内包している様々な教育的</p>								

	意義を知り、自分の教育観を積み重ねて、実生活でも生きる力へと繋げてほしい。	
13 オフィスアワー	授業内（初回授業）で周知する。	
14. 授業展開及び授業内容		
講義日程	授業内容	学習課題
第1回	オリエンテーション・ポストイットの座席に座る→座席指定（毎回席替え：前回の出席感想カードの席に座る）・班分け・シラバス配付・ノート指定・講義概要・学習目標・アサイメント・教科書・評価・メッセージ等 場面指導・初の保護者会・空気のドーナツ・教室は間違えるところなど 「特別活動とは―特別活動の位置づけと目標について考える―」 ・特別活動の教育課程内での位置づけと目標について理解する。 ・将棋の3つの礼について	事前学習 ・学習指導要領解説 特別活動編を概観し、自分なりに特徴をおさえる。
		事後学習 ・特別活動の特徴について、事前学習で自分なりにおさえた特徴に追記、修正を行う。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」真剣勝負の緊張感とは pp.23～25 を読みノートにまとめる。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。
第2回	場面指導について：中一ギャップ 「特別活動とは―特別活動の内容と特質について考える―」 ・特別活動の全体構成、各内容の概要について理解するとともに、その特質について考える。 ・特別活動の集団活動の意義について、次回将棋遊び①で実践	事前学習 ・学習指導要領解説 特別活動編の内容に関わる箇所を読み、学習指導要領上で示されている内容を理解しておく。
		事後学習 ・特別活動の特質についてまとめるとともに、各内容をきちんと住み分けられるようにする。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第1章①を読んでくる。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。
第3回	場面指導：学級活動の6つの学習過程 「学級活動・ホームルーム活動―学級活動及びホームルーム活動の内容を理解する―」 ・学級活動及びホームルーム活動の目標と内容（共通事項・係活動と集会活動）、活動形態等について理解する。 演習：将棋遊び①「山崩し」	事前学習 ・学習指導要領解説 特別活動編の学級活動・ホームルーム活動に関わる箇所を読み、学級活動・ホームルーム活動での課題について自分の意見をまとめる。
		事後学習 ・話し合い活動の共通事項（1）と（2）、係活動、集会活動の違いについてまとめる。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第1章②を読んでくる。
第4回	場面指導：学級活動2日目 「学級活動・ホームルーム活動の具体的な取り組み―話し合い活動の計画―」 ・話し合い活動の年間指導計画と一単位時間の指導計画を立てる。 演習：将棋遊び②「積み将棋」	事前学習 ・どのような話し合い活動が実際に行われているのか、自身の体験や調べ学習からまとめておく。
		事後学習 ・年間指導計画と一単位時間の指導計画を考える。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第2章①を読んでくる。
第5回	場面指導：掃除の時間 「学級活動・ホームルーム活動の具体的な取り組み―話し合い活動の実践：共通事項（1）―」 ・話し合い活動の模擬実践を行い、指導方法や課題について考える。 ・特別活動の集団活動の意義について	事前学習 ・指導計画を見直し、どのような模擬実践ができる準備をしておく。
		事後学習 ・模擬授業案・指導計画を修正、改善する。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第2章②を読んでくる。
第6回	場面指導：学級活動は学級経営の要 「学級活動・ホームルーム活動の具体的な取り組み―話し合い活動の実践：共通事項（2）―」 ・話し合い活動の模擬実践を行い、指導方法や課題について考える。	事前学習 ・指導計画を見直し、模擬実践ができる準備をしておく。
		事後学習 ・自身が作成した指導計画を修正、改善するとともに、学級活動・ホームルーム活動についてまとめる。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第3章①を読んでくる。
第7回	場面指導：特別活動の4つの方法原理 「学級活動・ホームルーム活動の具体的な取り組み―話し合い活動の実践：共通事項（3）―」 ・話し合い活動の模擬実践を行い、指導方法や課題について考える。	事前学習 ・指導計画を見直し、模擬実践ができる準備をしておく。
		事後学習 ・自身が作成した指導計画を修正、改善するとともに、学級活動・ホームルーム活動についてまとめる。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第3章②を読んでくる。

第8回	場面指導：育てたように子は育つ 「生徒会活動の指導」 ・生徒の主体的な活動としての生徒会活動の計画及び指導について考えることで、生徒会活動の意義について理解する。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の生徒会活動に関わる箇所を読み、生徒会活動での課題について自分の意見をまとめる。
		事後学習	・生徒会活動の指導の留意点についてまとめる。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第3章③を読んでくる。
第9回	場面指導：学校行事「運動会のリレーの選手」 「学校行事の指導—文化的行事と健康安全・体育的行事について考える—」 ・主として運動会の種目を検討する活動を通して、文化的行事・体育的行事のあり方や指導について考える。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の文化的行事、健康安全体育的行事に関わる箇所を読み、指導の留意点について自分の意見をまとめる。
		事後学習	・文化的行事、健康安全・体育的行事の指導の留意点についてまとめる。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第4章①を読んでくる。
第10回	場面指導：旅行・宿泊的行事「修学旅行」 「学校行事の指導—旅行・集団宿泊的行事と勤労生産・奉仕的行事について考える—」 ・主として集団宿泊的行事の宿泊計画について、教師の視点から計画を設計することで、集団宿泊的行事に必要な指導について理解する。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事に関わる箇所を読み、指導の留意点について自分の意見をまとめる。
		事後学習	・旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事の指導の留意点についてまとめる。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第4章②を読んでくる。
第11回	場面指導：儀式的行事「卒業式」 模擬授業バンズ理論：グループ内模擬授業「導入」 「学校行事の指導—儀式的行事について考える—」 ・儀式的行事の時程及び、指導について計画を立てることで儀式的行事の意義を理解する。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」授業は導入とまとめが命 pp.144～147を熟読する。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の儀式的行事に関わる箇所を読み、指導の留意点について自分の意見をまとめる。
		事後学習	・儀式的行事の指導の留意点についてまとめ、自身の着任挨拶を考える。 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第4章③を読んでくる。
第12回	場面指導：生き甲斐（IKIGAI） 「進路指導／キャリア教育」 ・進路指導、キャリア教育の意義や指導の留意点について考える。	事前学習	・「働く」ということの意義について考えてみる。
		事後学習	・職業観、勤労観について整理する。 ・模擬授業の準備 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第5章①を読んでくる。
第13回	模擬授業：個が生きる特別活動の指導法① グループ内模擬授業「まとめ」 「特別活動における評価と地域連携」 ・特別活動における評価の意義やあり方について、実際の実践映像や実践資料から考察するとともに、地域連携の必要性和重要性を考える。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の評価に関わる箇所を読み、特別活動における評価のあり方について自分の意見をまとめる。
		事後学習	・評価の意義についてまとめるとともに、家庭及び地域との連携での展望を考える。 ・模擬授業の準備 ・毎回配付される「将棋の教育的意義」を読み、感想をノートに書く。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」第5章②を読んでくる。
第14回	模擬授業：個が生きる特別活動の指導法② グループ内模擬授業「導入」「展開」「まとめ」 「特別活動の指導計画づくり」 ・特別活動の指導計画を作成することで、特別活動全体への理解を深める。	事前学習	・今までの授業を振り返り、特別活動の全体指導計画の構想を考えてくる。 ・模擬授業の反省
		事後学習	・特別活動の全体指導計画を修正し、完成させる。 ・教科書「すべては挨拶から始まる！礼儀でまとめる学級づくり」おわりに、を読んでくる。
第15回	特別活動についてのまとめ 模擬授業全体発表 「特別活動の指導法の講義から、学んだこと、自分が成長したこと、これからこれをどう活かしていくか」(800字)で書く。 ・特別活動の教育的意義と諸活動の内容を理解するとともに、課題や展望について考える。	事前学習	・今までの学習を振り返り、特別活動の特徴やポイントについて発表ができるようにしておく。
		事後学習	・特別活動の特徴やポイントについて、理解しやすいように簡潔にまとめるとともに、自身が教員になってからの展望について考える。